

北から南から

# 地域を支える 「ささえあい・みずぐるまの会」発足

山口県萩市 <sup>えむかい</sup>江向4区新生会 ●会員数 46名

## 「困りごとアンケート」 ——協力できる約8割

会の名前は江戸時代に地域にあった「みずぐるま」にちなみ、活動がクルクルまわるようにと名付けました。きっかけは「ゴミステーションが遠くて運ぶのが大変」という、サロンに参加している足が不自由な90歳の会員からの相談でした。そこで、「生活支援活動に取り組まないか」と会員に呼びかたところ、日頃から活動に協力してくれている10人（男女各5人、平均年齢69歳）が集まりました。

そして、老人クラブの取り組みを町内会の総会でも報告して、全戸（113戸）に「困りごとアンケート」を行いました。回答は約半数、30～50代の方も答えてくれました。また、全員が「助け合いの必要性を感じる（どちらかというと感じる含む）」と答えていて、改めて活動の必要性を感じました。さらに、「お手伝いできる」17%、「活動によって協力可能」62%と、回答者の約8割が協力してくれる気持ちをもっていることわかりました。



ユニフォームと回数券

裏庭の片付けは  
4日間でゴミ150袋

支え合い活動のしくみづくりは社協に教えていただきました。利用料は1回100円、5枚綴りの回数券を作成して購入してもらいます。活動開始時は、一軒ずつチラシを配っていきました。中には、その場で「お願いしたい」と依頼する人もいました。

## 誰でも参加できる生活支援

活動開始は昨年秋、これまでに7件（ゴミ出し、草ぬき、板塀の修理、薬の受け取り等）の依頼がありました。活動に協力してくれている民生委員は、定期的に情報交換したり、担当している高齢者に活動を紹介してくれたりしています。活動で得た利用料は6割を協力してくれた会員に渡して、残りはみずぐるまの会の経費にあてています。活動を通じて、利用者から「ありがとう」の言葉を聞くと何よりうれしく、次回も頑張ろうと思います。これからも、誰でも参加できるような生活支援を続けていきたいと考えています。

（会長 吉屋 卓志）